

平成29年度 厚木東高等学校 年間指導計画

教科・科目	地理歴史・日本史A (文系)	学年	第2学年	教科書	『高校日本史A 新訂版』(実教出版)
		単位数	3単位	副教材	『新詳日本史』(浜島書店)

学習目標
我が国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察させ、我が国の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

学習方法
ノート・プリントによって学習内容を整理します。しっかり予習復習をしましょう。
一授業に一回は『新詳日本史』(浜島書店)を使用します。忘れずに持ってきてください。

学習評価	評価の観点		科目の評価の観点の趣旨
	①	関心・意欲・態度	近現代の日本史への関心を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責務を果たそうとする。
	②	思考・判断・表現	具体的な歴史事象から、その時代の社会・文化を考察し、その過程や結果を適切に表現している。
	③	資料活用の技能	資料を収集し、有用な情報を選択して読み取ったり図表などにまとめたりしている。
	④	知識・理解	基本的な事柄を地理的条件や日本の歴史と関連づけながら理解し、その知識を身に付けている。
	⑤		

評価の観点	①関心・意欲・態度	②思考・判断・表現	③資料活用の技能	④知識・理解	⑤
授業への取り組み	○				
ノート・プリントへの取り組み	○	○	○	○	
小テスト	○	○	○	○	
定期テスト	○	◎	◎	◎	
観点別比重	10%	20%	20%	50%	

学期	内容のまとめ	時数	単元(題材)	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法
1学期	近代史	42	近代国家の成立	・開国と幕末の動乱	①幕末から明治時代の政治・経済・文化について、関心と課題意識を持って学習している。 ②幕末から明治時代について、国際的視野に立って考察し、適切に判断し、それを表現できる。 ③文献資料、地図、グラフなどを有効に活用している。 ④幕末から明治時代について、基本的事項を国際環境と関連づけて理解している。	確認テスト 観察 プリント提出 定期試験
				・明治維新と富国強兵		
・立憲国家の成立と日清戦争						
・日露戦争と国際関係						
2学期	近代日本とアジア	32	近代日本とアジア	・近代産業の発展	①大正・昭和期の政治・経済・文化について、関心と課題意識を持って学習している。 ②大正・昭和期について、国際的視野に立って考察し、適切に判断し、それを表現できる。 ③文献資料、地図、グラフなどを有効に活用している。 ④大正・昭和期について、基本的事項を国際環境と関連づけて理解している。	確認テスト 観察 プリント提出 定期試験
				・近代文化の発達		
				・第一次世界大戦と日本		
				・ワシントン体制		
3学期	戦後史	12	占領下の日本	・占領と改革	①GHQによる占領下の政治・経済・文化について、関心と課題意識を持って学習している。 ②GHQによる占領期について、国際的視野に立って考察し、適切に判断し、それを表現できる。 ③文献資料、地図、グラフなどを有効に活用している。 ④GHQによる占領期について、基本的事項を国際環境と関連づけて理解している。	確認テスト 観察 プリント提出 定期試験
				・冷戦の開始と講和		
	現代史	10	高度成長の時代	・55年体制	①高度成長期の政治・経済・文化について、関心と課題意識を持って学習している。 ②高度成長期について、国際的視野に立って考察し、適切に判断し、それを表現できる。 ③文献資料、地図、グラフなどを有効に活用している。 ④高度成長期について、基本的事項を国際環境と関連づけて理解している。	確認テスト 観察 プリント提出 定期試験
				・経済復興から経済成長へ		
現代史	9	激動する世界と日本	・経済大国への道	①安定成長期から現在の政治・経済・文化について、関心と課題意識を持って学習している。 ②安定成長期から現在について、国際的視野に立って考察し、適切に判断し、それを表現できる。 ③文献資料、地図、グラフなどを有効に活用している。 ④安定成長期から現在について、基本的事項を国際環境と関連づけて理解している。	確認テスト 観察 プリント提出 定期試験	
			・冷戦終結と日本社会の動揺			
合計時数(50分授業)		105				